



日合商は昭和52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるもので、また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

## 第43回日本合板商業組合通常総会を次年度へ延期とします！

現在全国で取り組んでいる新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中国支部主管の通常総会を次年度に延期することになりました。つきましては、2020年度の第一回理事会及び通常総代会は右記のとおり書面会議と致します。

### 書面会議の開催

下記の会議案内を書面にて改めてお送り致します。

#### ① 2020年度第1回理事会

◆理事は、5月13日(水)までに書面表決書を事務局までご返送ください。

#### ② 2020年度通常総代会

◆総代は、5月28日(木)までに書面表決書を事務局までご返送ください。

2020.3.26

### 書面決議による

### 日本合板商業組合 2019年度第三回役員会

新型コロナウイルス感染対策について政府の基本方針が決定され(2月25日付)、日合商は、この方針に準拠して、3月26日に招集決議を予定していた『日本合板商業組合 2019年度第三回役員会』を同日に書面会議で開催し、書面による表決を行いました。

#### 〔審議内容〕

理事総数 50名 本人出席(書面表決書の提出) 50名

監事総数 6名 本人出席(議案書の受領確認書提出) 6名

第一号議案～第5号議案まで全ての審議事項が承認されました。

日合商関西支部、日合商中部日本支部の総会が書面決議とされました。

### 日合商支部 5月・6月スケジュール

★新型コロナウイルス感染防止対策により変更がある場合は日合商ホームページ  
[イベント情報] でご案内します

北海道支部 総会 5月18日(月) 書面決議に変更

四国支部 総会 6月10日(水) 伊予鉄会館(予定)

北関東支部 総会 6月16日(火) パレスホテル大宮(予定)

東関東支部 総会 6月18日(木) 書面決議に変更

北陸支部 総会 6月19日(金) ホテル日航金沢(予定)

2020年  
3月25日現在

### 【グリーン購入法】に基づき 事業者新認定・期限更新した6社

東関東	-③-0019	(株)万代プレカット野田工場 (つくば営業所・海老名営業所含む)	代表取締役社長 遠藤 又四郎
東京	-④-0099	モック(株)	代表取締役 榎本 哲也
東京	-②-0213	(株)内田新材センター	代表取締役 内田 光則
東京S	-0018	(株)クトクコーポレーション	代表取締役 村石 建治
中部日本	-②-0053	(株)ハマダ	代表取締役 濱田 博
中国	-②-0097	渡辺パイプ(株)岡山住設サービスセンター	所長 田辺 新

jutec Group



代表取締役社長  
**足立 建一郎**  
ジユーテックホールディングス株式会社

そこに新しい「変革」が見えてくるはずだ。  
変えていかなければならない

「CHANGE」を「CHANCE(機会)」に

「突破力」をフル回転させながら、  
イノベーションを起こすためには、

イノベーションは起こせない。  
ただ歴史にあぐらをかいていたのでは、

いよいよ100周年へのカウントダウンが始まる。  
昨年96周年を迎えた。

**変革をこれからも**



# JK情報センター 2020年度第1四半期（4月～6月）需要動向予測調査より

## 工務店・販売店による需要予測

国土交通省より発表された令和元年（1月～12月）の新設住宅総着工戸数は、90万5,123戸（前年比96.0%）となり2年連続で前年を下回った。利用関係別の1月～12月累計では、貸家が16カ月連続前年割れもあり前年比86.3%と着工数を押し下げたが、持家は前年比101.9%、分譲住宅は前年比104.9%と前年を上回った。しかし、持家は7月から前年を下回り始めており、月を追うごとに落ち込み幅が大きくなっている。

そのような中で、令和2年4月～6月の需要動向予測がまとまった。工務店調査段階で-18.3ポイント、販売店調査段階で-15.4ポイントの回答と、前回調査を更に下回った。消費税8%の増税後と比較してみると、同時期調査（2014年10月～12月）では工務店調査段階で-39.5ポイント、販売店調査段階で-33.7ポイントと、駆け込み需要と反動減の高低差は前回増税後より緩やかに見て取れる。エリア別では前回までプラスポイントであった中国・九州エリアもマイナスに転じ、全エリアがマイナスポイントとなった。その中で東北エリアは前回よりもマイナスポイントが改善している。

フラット35の申請件数は、9月から12月まで4カ月連続で1万件を超える高水準で推移し、1月単月でみても8,065件と前年比106%の伸び率となっているが、需要の減少予測との今後の動向に注視したい。

## 主要メーカーによる販売予測

主要メーカーの販売予測では、販売店・工務店の需要予測を上回る大幅な減少予測となった。全社平均でマイナス50.4ポイントと前回のマイナス16.4ポイントから減少予測幅が増えた。新型コロナウイルスの感染が拡大している状況で、商品の生産や納品の遅延も発生しており、主要メーカーの厳しい予測が伺える。

	増加予測	前年並予測	減少予測
合板	5.3%	33.4%	61.3%
木質建材	5.0%	21.2%	73.8%
窓業・断熱	6.7%	26.7%	66.6%
住設機器	12.5%	58.3%	29.2%

## リフォームの現状・各種調査

前期（2020年1月～3月）と比較したリフォーム事業の増減は、全国では減少予測が増えたが、東北・関東エリアでは増加予測が増えた。次世代住宅ポイント制度は、1月迄の累計申請戸数が187,026戸、内訳は新築80,600戸、リフォーム106,426戸となった。リフォームは1月単月で44,473戸を占めており、3月末迄の申請となるが、ポイントを利用したリフォーム工事は増えると考えられる。

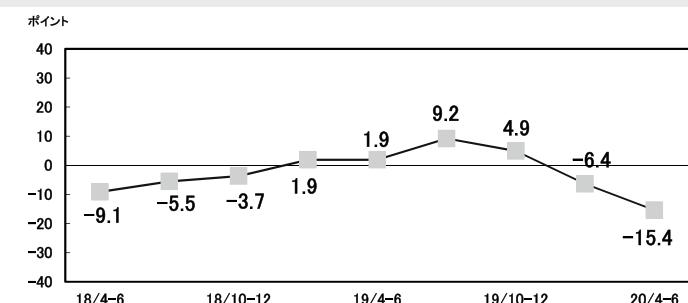
### 販売店

#### 景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

#### 調査の時期と方法

この調査は2020（令和2）年1月下旬から2月中旬までを調査時点として、お取引先3000社に面接調査を行い回収したものを一括集計したものです。  
※通商株式会社、株式会社ミモク、物林株式会社、株式会社銘林にも調査依頼をしております。



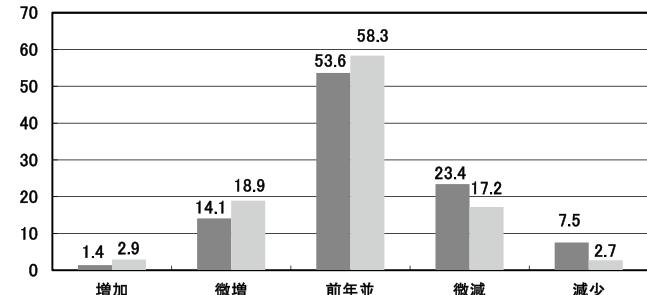
### 販売店

#### 地域別需要予測

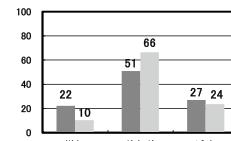
全 国 回答数 2,887

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。  
単位は、「%」となります。

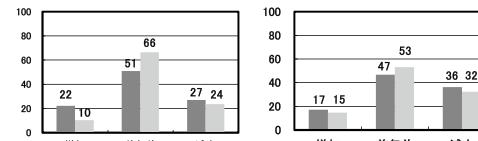
2020年 4月～6月  
2019年 4月～6月



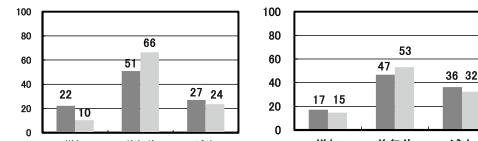
### 北海道



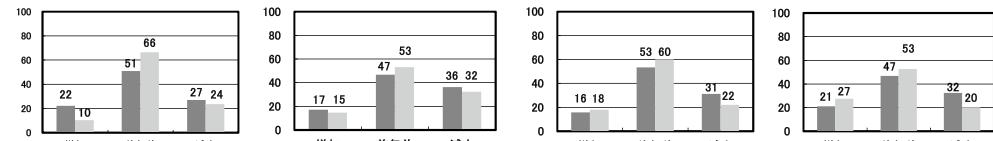
### 東北



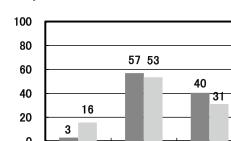
### 関東



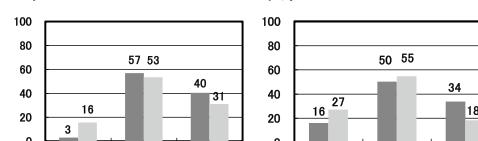
### 甲信越



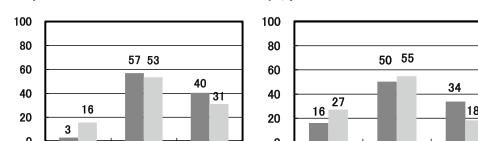
### 北陸



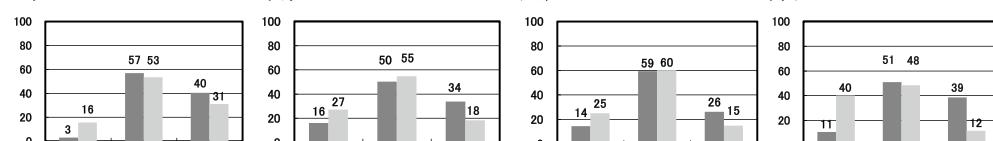
### 中部



### 近畿



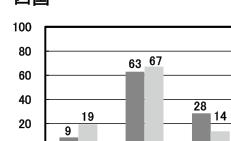
### 中国



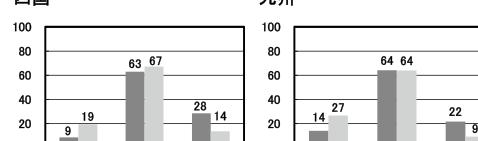
#### <有効回答数>

北海道	163	中國	171
東北	381	四国	116
関東	972	九州	326
甲信越	195		
北陸	67		
中部	225		
近畿	271		

### 四国



### 九州



### NODA

## Rustic Face

Rich J-Base | J-Base [天然木フロア]

リッチ・Jベース (1本溝タイプ)

J-ベース (2本溝タイプ)



モダンでありながら、  
素朴であたたかみのある風合い。  
木目の織りなす床の質感。

**sojitz**  
New way, New value

双日建材は、安心、安全な『住まい』づくりの良きパートナーであり続けます。  
『住まい』づくりのサポートを通じて、『ひと』に豊かさを提供します。



双日建材株式会社

www.sojitz-bm.com

本 社：東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル21F TEL.03-6870-7800  
営業拠点：大阪・名古屋・札幌・東北(仙台)・新潟・北陸(金沢)・静岡・中国(広島)・四国(高松)  
九州(福岡)・那覇・マレーシア・インドネシア

## 2020年3月23日の林野庁主催「令和元年度第4回木材需給会議」での検討結果

### 主要木材の入荷量

注: ◇国産材: 製材用は製材工場への入荷ベース、合板用は合板工場への入荷ベース、外材及び輸入合板: 港頭入荷ベース、国内製造合板及び構造用集成材は製造ベース  
◇合板国内製造の実績値は、農林水産省「合板統計」による

四半期	区分	丸太							輸入製材品							合板			構造用集成材			
		国産材			輸入丸太				計	米材	欧州材	南洋材	北洋材	NZ/チリ	計	国内製造	輸入	計	国内製造	輸入	計	
		製材用	合板用	計	米材	南洋材	北洋材	NZ/チリ														
令和元年	10-12月 実績	実数(千m <sup>3</sup> )	3,324	1,212	4,536	571	35	25	84	715	440	579	106	154	73	1,352	865	648	1,513	505	214	719
		前年比(%)	99.1	102.5	100.0	98.4	80.5	125.0	90.4	97.1	93.2	96.3	95.1	97.6	79.1	94.2	106.4	83.6	95.3	109.8	111.4	110.3
令和2年	年計	実数(千m <sup>3</sup> )	13,108	4,839	17,947	2,430	133	109	354	3,026	1,757	2,564	414	665	405	5,795	3,324	2,535	5,859	1,915	839	2,754
		前年比(%)	103.3	108.1	104.5	95.2	86.7	85.8	91.0	94.0	85.0	99.9	96.6	99.1	97.2	94.4	103.3	86.7	95.4	105.5	103.2	104.8
令和2年	1-3月 見込み	実数(千m <sup>3</sup> )	2,800	1,170	3,970	500	31	25	65	621	390	590	80	160	90	1,310	830	631	1,461	480	200	680
	前年比(%)	83.0	99.1	87.2	73.9	82.0	96.2	76.5	75.2	101.1	95.4	80.8	101.0	78.9	95.2	104.1	92.2	98.6	107.9	101.5	105.9	
令和2年	4-6月 見通し	実数(千m <sup>3</sup> )	2,300	1,210	3,510	500	32	30	70	632	440	650	100	170	60	1,420	840	592	1,432	385	200	585
	前年比(%)	68.3	96.3	75.9	76.3	86.8	83.3	70.6	76.4	96.9	92.5	95.2	100.0	44.4	90.6	102.3	96.5	99.8	81.1	95.2	85.4	
令和2年	7-9月 見通し	実数(千m <sup>3</sup> )	2,500	1,250	3,750	650	32	25	70	777	450	650	100	160	100	1,460	850	569	1,419	425	200	625
	前年比(%)	82.1	105.1	88.5	123.3	138.4	113.6	81.5	118.1	94.2	97.9	95.8	93.0	121.2	97.3	101.1	96.6	99.2	86.7	91.8	88.3	

### 概要

2020年2月の新設住宅着工戸数は63,105戸（前年同月比12.3%減）で8カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は35,824戸（前年同月比10.4%減）で8カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は87.1万戸で前月比7.2%増、先月の減少から再びの増加となる。

利用関係別では持家が19,557戸（前年同月比11.1%減）で7カ月連続の減少、貸家は22,638戸（同比18.9%減）で18カ月の連続の減少、分譲20,632戸（同比3.9%減）で4カ月連続の減少となった。分譲の内訳はマンションが9,353戸（同比2.4%増）で4カ月ぶりの増加、戸建では10,907戸（同比7.9%減）と3カ月連続の減少となった。持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比12.3%の減少となった。

### 国内・外合板の供給量

2月の国内合板生産量は27.0万m<sup>3</sup>（前月比100.8%、前年同月比102.4%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は26.0万m<sup>3</sup>（同比101.1%、103.1%）となり、出荷量は23.0万m<sup>3</sup>（同比89.7%、91.1%）で、

在庫量は15.7万m<sup>3</sup>と急激に増加した。

輸入合板の2月度入荷量は17.5万m<sup>3</sup>（前月比72.2%、前年同月比77.2%）となった。

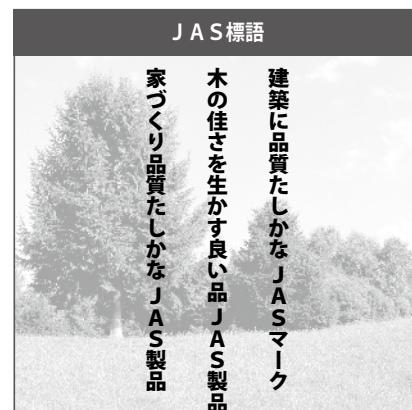
国別入荷量はマレーシアが7.3万m<sup>3</sup>、インドネシアが7.2万m<sup>3</sup>、中国が1.5万m<sup>3</sup>と過去最低の入荷量となっている。

### 今後の見通し

国内針葉樹合板は緩やかな増減を繰り返してきた在庫量が急激に増えている。各メーカーは先安感を払拭するために、相次いで減産を打ち出した。建値を堅持しつつ、減産をしっかり行うことで市中価格を安定できるかが焦点になっている。

輸入合板は新型コロナウイルス影響で、過去最低の入荷量であった。現地の感染拡大により、今後更に供給面に影響してくるのではないかと懸念している。需要背景は乏しいが、入荷量減少の影響で急激な価格上昇や欠品するアイテムが出てきてもおかしくない状況と考える。そのところを踏まえたうえで手当てを進めて頂きたい。

東京の合板卸売り価格(円)										※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より (注)1車単位(10トン)問屋売り価格・90日手形(JAS製品)									
品目	3月18日	前週比	3月25日	前週比	4月1日	前週比	4月7日	前週比	4月15日	前週比	品目	3月18日	前週比	3月25日	前週比	4月1日	前週比	4月7日	前週比
ラワン JAS F★★★★	2.3mm T2	590	-10	590	0	590	0	590	0	590	0	1,120	-10	1,120	0	1,120	0	1,120	0
	4.0mm //	700	-30	700	0	700	0	700	0	700	0	2,540	-10	2,540	0	2,540	0	2,540	0
	5.5mm //	880	-10	880	0	880	0	880	0	880	0	2,840	-10	2,840	0	2,840	0	2,840	0
	9.0mm //	1,480	-20	1,480	0	1,480	0	1,480	0	1,480	0	1,970	0	1,970	0	1,970	0	1,970	0
針葉樹構造用(ネダノン)	12.0mm //	1,800	-20	1,800	0	1,800	0	1,800	0	1,800	0	1,120	-10	1,120	0	1,120	0	1,120	0
	F★★★★ 12mm C-D	1,120	-10	1,120	0	1,120	0	1,120	0	1,120	0	2,540	-10	2,540	0	2,540	0	2,540	0
	F★★★★ 24mm 実付	2,540	-10	2,540	0	2,540	0	2,540	0	2,540	0	2,840	-10	2,840	0	2,840	0	2,840	0
	F★★★★ 28mm 実付	2,840	-10	2,840	0	2,840	0	2,840	0	2,840	0	1,970	0	1,970	0	1,970	0	1,970	0
輸入・型枠用	12mm JAS 製品	1,250	-50	1,250	0	1,250	0	1,250	0	1,250	0	1,250	0	1,250	0	1,250	0	1,250	0
輸入・構造用	F★★★★ 12mm JAS 製品	1,300	-40	1,300	0	1,300	0	1,300	0	1,300	0	1,300	0	1,300	0	1,300	0	1,300	0



地球環境に優しいものづくり  
国産材合板を  
お届けします。



KEY-TEC™

株式会社 キーテック

[www.key-tec.co.jp](http://www.key-tec.co.jp)

本社 〒136-0082 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー8F

TEL: 03-5534-3741 FAX: 03-5534-3750

木更津工場 〒292-0837 千葉県木更津市木材港15

TEL: 0438-36-9311 FAX: 0438-37-2102

山梨工場 〒409-2522 山梨県南巨摩郡身延町下山11371

TEL: 0556-64-8223 FAX: 0556-64-8224

YKK AP株式会社

<http://www.ykkap.co.jp/>

日合商ホームページよりご確認ください!!

トピックス

<https://www.nichigoshō.net>

## 新着情報・トピックス

- 4月 15日 新型コロナウイルス感染症関連「経済産業省の支援策」(2020年4月15日時点)
- 4月 9日 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」
- 4月 3日 「大規模な感染拡大防止に向けた職場における対応について」
- 3月 31日 「JAS構造材個別実証事業令和2年度第一次公募」開始
- 3月 16日 新型コロナウイルス緊急対応策第2弾「新型コロナウイルス感染症の発生に伴い影響を受けた木材産業者への金融支援措置」
- 3月 10日 「セーフティネット保証5号対象業種」を指定
- 3月 3日 「セーフティネット保証4号」を発動

## 【トピックス】ポイント解説

(詳しい内容は日合商ホームページ【トピックス】をご参照ください)

### 新型コロナウイルス感染症緊急対策としての金融支援措置

#### ● 4月 15日 経済産業省の支援策 (2020年4月15日時点)

ポイント解説◆新型コロナウイルスによる企業への影響を緩和し、

企業を支援するための施策をわかりやすくまとめてご案内

#### ▶ 案内メニュー

- ・持続化給付金  
対象：事業全般（資本金10億円以上の大企業を除く）に広く使える  
給付額：法人は200万円、個人事業者は100万円  
ただし、昨年1年間の総売上からの減少分が上限
- ・支援策パンフレット  
・輸出入手続きの緩和等
- ・資金繰り支援（貸付・保証）  
・下請け中小企業への配慮事項
- ・新型コロナウイルス対策補助事業  
・その他の関連情報（相談窓口など）

#### ● 3月 16日 【新型コロナウイルス緊急対応策】による金融支援措置

ポイント解説◆事業活動の縮小や雇用への対応

#### ▶ 強力な資金繰り対策

「新型コロナウイルス感染症特別貸付制度」を創設し、金利引下げ、  
さらに中小・小規模事業者等に実質的に無利子・無担保の資金繰り支援

#### ▶ 日本政策投資銀行（DBJ）及び商工中金による危機対応業務等を実施、

資金繰りや国内サプライチェーン再編支援

#### ▶ 民間金融機関における新規融資の積極的実施、既往債務の条件変更等を要請

#### ● 3月 16日 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い影響を受けた木材産業者に対する金融支援

ポイント解説◆木材産業者への金融支援

#### ▶ 支援項目

- ①実質無担保・無保証人化 適用開始日：2020年3月10日  
融資対象物件担保や同一経営の範囲内の保証人のみ徴求する債務保証を実行
- ②保証料の実質免除 適用開始日：2020年3月10日  
民間金融機関からの資金の借り入れに対する債務保証について、  
保証当初最長5年間の保証料を実質免除

#### ● 3月 3日 「セーフティネット(SN)保証4号」を発動

ポイント解説◆「セーフティネット4号」とは

自然災害等の突發的自由により経営の安定に支障が生じている中小企業者への資金供給の円滑化を図るため、災害救助法が適用された場合及び都道府県から要請があり国として指定する必要があると認める場合に、信用保証協会が通常の保証限度額とは別枠で借入債務の100%を保証する制度。発動による指定地域は47都道府県。

#### ▶ 対象となる中小事業者

- ・指定地域において1年間以上継続して事業を行っていること
- ・災害の発生に起因して、当該災害の影響を受けた後、  
原則として最近1カ月の売上高等が対前年同月比20%以上減少し、かつ、その後2カ月を含む3カ月間の売上高等が対前年同月比20%以上減少することが見込まれること（売上高等の減少について市区町村長の認定が必要）。

#### ▶ 保証条件

- ①対象資金：経営安定資金
- ②保障割合：100%保証
- ③保証限度額：一般保証（限度額2億8,000万円）とは別枠で2億8,000万円

通常の信用保証制度  
(最大2.8億円)SN保証  
(最大2.8億円)危機関連保証  
(最大2.8億円)

SN保証4号・5号で支援

4号：100%保証

※全都道府県が対象

5号：80%保証

※影響の大きい業種を指定

#### ■ 強力な資金繰り支援

### JAS構造材利用拡大事業

#### ● 4月 3日 「JAS構造材個別実証事業 令和2年第一次公募」開始

ポイント解説◆「JAS構造材個別実証事業」とは

#### ▶ JAS構造材を活用する実証取組みに対し、その木材の調達費の一部を助成

#### ▶ 令和2年度の対象物件

・施主が国や宗教施設でないもの（地方公共団体の建てる建物も対象）

・低層の戸建て住宅を除く全ての建築物

店舗 事務所 倉庫 畜舎 事務所 旅館などの宿泊施設 サービス付き高齢者向け住宅  
福祉施設 教育関連施設 診療所 病院 集合住宅 4階建て以上の戸建て住宅

#### ★日合商メールマガジンのメニューを二本立てに変更!!

行政施策等の解説をお伝えしてきた従来の『日合商メールマガジン』の名称を変更して、新年度より、行政施策等の解説をお伝えする『日合商解説』、新たに追加した業界の最新事情をお伝えする『日合商通信』の二本立てで情報を発信します。

#### ★メール配信中の【日合商メールマガジン】記事閲覧をURLで手間省略

これまでメール配信の【日合商メールマガジン】記事閲覧にはパスワード・

ID入力が必要でしたが、メールに添付のURLから直接記事が閲覧できる

ようになりました。ただし、メールマガジンは会員専用ページのため、ホー



ムページから記事を閲覧される場合は、パスワード・ID入力が必要です。

暮らしと  
地球を  
考える。



JKホールディングスグループが扱う  
「木質系建築資材」。これらは再生  
産が可能で循環型社会の実現に  
は不可欠な森林資源からつくられて  
います。木の性質である呼吸は、炭  
素を貯蔵し、大気中の二酸化炭素  
量のバランスを保つ役割を持っています。私たちは、木が地球環境を  
支える重要な存在であることを理解  
し、適切に管理された森林資源が  
人の暮らしと地球環境の未来を支  
えていくと考え、その保全に貢献し、  
快適で豊かな住環境を創造します。



JKホールディングス株式会社